

SGHアジア探究文系活動報告 7

2年文理学科課題研究・アジア探究文系社会系統講座では9月8日・木曜日も、校外から助言者の方をお招きして東南アジアの地域的特性に関する探究のためのワークショップを行いました。

助言者は以下の方々です。

京都大学大学院 アジア・アフリカ地域研究研究科 より

金 悠進 さん 東南アジア地域専攻地域変動論講座 3年

加藤 千里 さん 東南アジア地域専攻地域変動論講座 1年

関西学院大学より

蓮沼 香菜 さん 法学部 政治学科 国際法政コース 4年

ベトナムでの海外フィールドワーク、インドネシアでの国際社会貢献活動を経験

高橋 由莉 さん 総合政策学部 国際政策学科 4年

シンガポール 南洋理工大学に交換留学の経験あり

前回行ったワークショップの内容を受けて、今回は生徒たちの側でも事前に積極的な情報収集を行い、質問したい項目をある程度明確にした上でアドバイスを受けるという姿勢が見られました。その甲斐あってか当日は、「JICAが東南アジアで行っている事業に対してどのように差別化を図っていくのか」（水ビジネス）、「飲食店事業を展開する際の具体的なスタイルは？例えば屋台なのか弁当なのか」（ハラル食ビジネス）など、詳細な内容に関しても討議が行われました。

また、当日の課題研究の時間には、関西学院大学大学院社会学研究科の吉田寿夫教授が視察にられました。ワークショップの現場などをご覧いただいた後に本校の教員とSGHの運営などに関して協議を行いました。

貴重なアドバイスをいただきました吉田教授と助言者のみなさまにあらためて感謝申し上げます。

